1968/2013ー現代社会を1968から考える

現代社会と深くつながっている「20世紀の転換点」となる、1968年を象徴とする1960年代後半から70年代前半の様々な出来事との関連から現在そして未来を考えていきます。これを通して、学問研究の基礎「読み」「考え」「書き」「話し」の方法を学び、自立的な学習能力の修得を目指します。

1. 大学での学習・研究とは何かを知る
   高校までの「勉強」と大学における「学習」との違いを考えましょう。
2. テーマを設定し、絞り込む
   関心のある事柄に対し、キーワードを集めて、発表に向けてテーマを絞り込みましょう。
3. 図書を探す
   決めたテーマに関する図書を探してみましょう。まずは入門的な図書からスタートして、本を読みながらキーワードを広げたり、絞り込みを行なったりして軌道修正しつつ、探索を進めましょう。
4. 雑誌掲載の記事・論文を探す
   学術雑誌には、研究者の研究成果が論文としてまとめられています。これまで入手したキーワードや情報をもとに、より深い情報をさがしてみましょう。学術雑誌の他にも、一般雑誌にも特集が組まれていることがあります。雑誌記事・雑誌論文を見ることで、研究の最前線、社会との関わり、一般の関心の方向を調べることが出来ます。
5. 新聞記事を探す
   新聞記事を探すにはデータベースを使うのが便利です。名大では様々な新聞記事データベースを見ることができますので、この機会に使ってみましょう。
6. 資料を入手する
   学内で所蔵していない資料は、取り寄せることができます。
7. 研究成果を発表する
   研究成果は、発表して共有することが重要です。理解してもらいやすい論文の書き方・発表の仕方を身に付けましょう。

［科目名］基礎セミナーA/B

［担当教員名］黒田　光太郎

［開講時期］I期/II期 月・5 (2013)

［対象学部］農学部・文系学部・情報文化学部(自然)・理学部・工学部（I・III・IV・V系)

1.大学での学習・研究とは何かを知る

高校までの「勉強」と大学における「学習」との違いを考えましょう。

研究・発表に関する図書を読む

初めての研究の前に、基本的なルールを確認しましょう。

中央図書館や学部の図書室で、以下の請求記号を手がかりに図書を探すのも一助になります。

請求記号	分類	内容例
002.7	知識・学問・学術--研究法・調査法	研究や調査に必要な情報の集め方および整理法
377.15	高等教育--教育課程・講座・教授理論・教授法	大学での学び
816.5	論文	レポート・論文の書き方

大学で学ぶとは？

「大学で学ぶ」ために必要なスキルは何か、考えてみましょう。

タイトル アカデミック・スキルズ = Academic Skills : 大学生のための知的技法入門

著者名 佐藤望 編著，湯川武, 横山千晶, 近藤明彦 著

ひとこと紹介 ノートの取り方、情報の探し方、レポート・論文の書き方など、大学生のための学びの技法をわかりやすく伝授。
中央学3F　002.7||Sa
等にあります。

タイトル スタディスキルズ・トレーニング : 大学で学ぶための25のスキル

著者名 吉原恵子, 間渕泰尚, 冨江英俊, 小針誠 著

ひとこと紹介 大学入学時のコミュニケーションをつくる「ウォーミングアップ編」、大学の学びの特徴を知る「オリエンテーション編」、大学で学ぶためのスタディスキルを習得する「スタディスキルズ編」の3部構成。
中央学3F　377.15||Y
にあります。

2.テーマを設定し、絞り込む

関心のある事柄に対し、キーワードを集めて、発表に向けてテーマを絞り込みましょう。

キーワードを考える（KJ法を利用した例）

1. まずは関心のある事柄について、浅く・深く・狭く・広く、思いつくままにキーワードや短い文章を、カードや付せんに書きだしてください。質よりも量、と割り切って、できるだけたくさんのアイディアを出します。

   関連するキーワードを探すには、Webcat Plusの連想検索が便利です。入力したキーワードから関連ワードを提示してくれます。

2. 「1.」で書き出したものを、関連性のあるもの毎にグループにまとめます。まとめたものは「小見出し」をつけ、内容が分かるようにすると便利です。

3. グループ同士に関連性（ストーリー）ができるよう、並べ替えます。グループ間の関係性（原因と結果なのか、対立理念なのか、補助関係なのか、など）を確認します。

4. もっとも重要と思うグループを、主となる研究テーマとしましょう。カードや付せんに書き出したキーワードは主要な研究項目となりますし、「3.」でできた因果関係も重要な指針を与えてくれます。

ここに挙げたやり方は、あくまでも一例です。一冊の図書・一本の論文をじっくり読み、気になることばを書き出す、友人とディスカッションしてみるなど、他にも有効なやり方はたくさんありますので、自分にあったやり方を見つけられるよう、いろいろ試してみてましょう。

辞典でことばを調べる

書き出したキーワードなどを確認してみましょう。

インターネット・DB

タイトル Japan Knowledge+

リンク先URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html

ひとこと紹介 「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「現代用語の基礎知識」「imidas」「Encyclopedia of Japan」ほか英和・和英辞典等をオンラインで検索できます。同時アクセス数は４。使い終わったら必ず［ログアウト］してください。

タイトル 現代用語の基礎知識

著者名 自由国民社編

ひとこと紹介 中央図書館２階(参考図書)で所蔵しています。
請求記号：813.7||G

図書(の章節)

タイトル 世界大百科事典 全31巻　2005年改訂版

ひとこと紹介 平凡社刊行。日本を代表する百科事典のひとつ。
中央参　031//Se
にあります。

図書(の章節)

タイトル 日本大百科全書

ひとこと紹介 小学館刊行。全26巻の、日本を代表する百科事典のひとつ。中央館2階、法、教育、情言、留学生センター、情報連携基盤センター、医保健（第2版）の各図書館/図書室で所蔵しています。オンライン版は「JapanKnowledge」で利用可能です（学内限定）。

3.図書を探す

決めたテーマに関する図書を探してみましょう。まずは入門的な図書からスタートして、本を読みながら

キーワードを広げたり、絞り込みを行なったりして軌道修正しつつ、探索を進めましょう。

直接図書館に行って、棚に並んだ図書を眺めながら探す（ブラウジング）

図書館では、分類ごとの記号に従って図書が並んでいます。テーマに関する分類記号を調べ、その周辺の棚を見てみましょう。

> 附属図書館の利用案内を見れば，分類表や中央図書館の資料配置が分かります。
> http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide_c/guide/ndc.html

この分類以外にもあちこちに関連する本が配置されています。
是非、OPACの**キーワード検索**で眠っている資料を探してみましょう。

名古屋大学にある図書を検索する

オンライン目録（OPAC）で，名古屋大学に所蔵されている図書を検索することができます。
「キーワード」を入力して検索してみましょう。

> 調べ方がわからない時は，ガイドシートを活用してください。
> http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/2-1-books.pdf

名古屋大学にない図書を探す

インターネットを使って、国内の大学・研究機関・公共図書館等にある図書を検索できます。

なお、郷土資料などを調べるときは、公共図書館の方が資料が充実していることがあります。

> 名古屋大学で所蔵していない図書は，取り寄せて借りることもできます。
> 所属別申込先一覧をご覧下さい。（公共図書館の場合は中央図書館へ。）
> http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html

インターネット・DB

タイトル	Webcat Plus
リンク先URL	http://webcatplus.nii.ac.jp/
ひとこと紹介	全国の1,000以上の大学図書館等が所蔵する図書や、新刊書の情報を、内容・目次データから検索できます。 また関連ワードが表示されるので、検索しながらキーワードを検討できます。

インターネット・DB

タイトル	愛蔵くん（愛知県内図書館 横断検索）
リンク先URL	http://www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi_oudan_f.htm
ひとこと紹介	愛知県内の市町村立図書館等の所蔵を一括検索できます。大学図書館よりも、より平易な一般書の所蔵が多くなっています。

タイトル	国立国会図書館 NDL-OPAC
リンク先URL	https://ndlopac.ndl.go.jp/

ひとこと紹介	国立国会図書館(NDL)が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。 (国内で発行されたすべての出版物は、NDLに納入することが義務づけられています。そのためNDLは、国内の刊行物についてのデータを豊富に持っています) ○図書や雑誌の検索　→「一般資料の検索/申込み」をクリック ○雑誌に載った論文を検索　→「雑誌記事索引の検索/申込み」をクリック

1968年ごろを起点とする出来事について書かれた図書を読む

例えば以下に挙げたような図書があります。

名古屋大学では所蔵していない図書も含みます（他大学で所蔵しているものなどの利用方法は「6. 資料を入手する」を参照）。

テーマに合った図書が見つかったら、図書の章末や巻末に掲載されている参考文献などから、更に関連図書を探してみましょう。

参考：名古屋大学附属図書館・ガイドシートリスト＞文献リストのみかた

分野	タイトル	編著者	出版社	出版年
政治・経済・社会問題	連続講義一九六〇年代未来へつづく思想	高草木光一編 ; 吉川勇一[ほか著]	岩波書店	2011.2
	現代政治学入門	河田潤一編著	ミネルヴァ書房	1992.3
	近代世界システム : 農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立	I.ウォーラーステイン著 ; 川北稔訳	岩波書店	2006.10
	水俣学講義	原田正純編著	日本評論社	2004.3-
	静かさを返せ! : 物語・新幹線公害訴訟	名古屋新幹線公害訴訟弁護団著	風媒社	1996.3
文化	1968年文化論	四方田犬彦, 平沢剛編著	毎日新聞社	2010.9
	あのファッションは、すごかった! : いっきに読める日本のファッション史	遠入昇	中経出版	2008.3
	ニューミュージックの時代 (日本のフォーク&ロック・ヒストリー 2)	前田祥丈, 平原康司編著	シンコー・ミュージック	1993
	ビートルズと60年代	イアン・マクドナルド著 ; 奥田祐士訳	キネマ旬報社	1996.7
	「映画の見方」がわかる本 : 『2001年宇宙の旅』から『未知との遭遇』まで	町山智浩著	洋泉社	2002.9
	メディア仕掛けの選挙 : アメリカ大統領達のCM戦略	エドウィン・ダイアモンド, ステファン・ベイツ著 ; 佐藤雅彦訳	技術と人間	1988.12

科学	ナイロン発明の衝撃：ナイロンが日本に与えた影響	井上尚之著	関西学院大学出版会	2006.3
	核と刀：核の昭和史と平成の闘い	高田純著	明成社	2010.4
一般	人類の歴史を変えた8つのできごと	眞淳平著	岩波書店	2012
	戦後"経済外交"の軌跡：なぜ、アジア太平洋は一つになれないのか (NHKさかのぼり日本史．外交篇；1)	井上寿一著	NHK出版	2012.9

4.雑誌掲載の記事・論文を探す

学術雑誌には、研究者の研究成果が論文としてまとめられています。これまで入手したキーワードや情報をもとに、より深い情報をさがしてみましょう。学術雑誌の他にも、一般雑誌にも特集が組まれていることがあります。雑誌記事・雑誌論文を見ることで、研究の最前線、社会との関わり、一般の関心の方向を調べることが出来ます。

インターネット・DB

タイトル CiNii Articles（サイニィ）　（一部の本文は学内限定）

著者名 国立情報学研究所

リンク先URL http://ci.nii.ac.jp/

ひとこと紹介 国内で刊行された雑誌記事を探すことができます（主に学術雑誌・大学紀要・学会誌）。一部の雑誌については，論文全文をダウンロードし閲覧することができます。NULinkが利用できます。

インターネット・DB

タイトル 雑誌記事索引集成データベース

著者名 皓星社

リンク先URL http://zassaku-plus.com/

ひとこと紹介 明治初期から現在まで、総合雑誌から地方誌までの記事検索ができます。学内限定で、同時アクセス１名です。

インターネット・DB

タイトル NDL-OPAC（雑誌記事索引）

リンク先URL http://opac.ndl.go.jp/

ひとこと紹介 国立国会図書館で記事を採録した雑誌（雑誌記事索引採録誌）に掲載された各記事・論文について、記事のタイトル・著者名などから検索、申込みができます。

タイトル MAGAZINEPLUS

リンク先URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbjapanese.html#MAGPLUS

ひとこと紹介 人文・社会・科学・技術・医学・薬学の全分野を網羅した雑誌記事索引ファイル（1946年～）のほか、５つのファイルを含むデータベースです。 雑誌記事索引ファイルに含まれないポピュラーな一般誌の記事や、人文社会系の年次研究報告・学術論文集の論文、海外産業・企業誌紙なども検索できます。
（学内限定）

- 読みたい記事・論文が掲載されている雑誌名がわかったら、オンライン目録（OPAC）を使って名古屋大学の所蔵を調べます。CiNiiの場合は、CiNii PDFとして本文をそのまま見られるものもあります。
- 見つかった雑誌を名古屋大学で所蔵していない場合は、コピーを取り寄せることもできます。所属別申込先一覧をご覧ください。

(http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html)

- 取り寄せ方法は「6. 資料を入手する」を参照してください。
- 調べ方がわからない時は，図書館サイト「論文を探す」をご覧下さい。

(http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/support/search/articles.html)

5.新聞記事を探す

新聞記事を探すにはデータベースを使うのが便利です。名大では様々な新聞記事データベースを見ることができますので、この機会に使ってみましょう。

インターネット・DB

タイトル 日経テレコン21

リンク先URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#NK21

ひとこと紹介 朝日新聞のオンライン記事データベースです。創刊（1879年）からの記事を検索できます。AERA(1998年5月（創刊号）-)、週刊朝日（2000年4月-ニュース面)、現代用語「知恵蔵」最新版も検索できます。
学内限定です（同時利用可能ユーザー数は1名）。必ず、[ログアウト]ボタンで終わってください。

インターネット・DB

タイトル 日経テレコン21

リンク先URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#NK21

ひとこと紹介 日経４紙『日本経済新聞』、『日経産業新聞』、『日経流通新聞MJ』、『日経金融新聞』の全文記事データベース。
学内限定、同時アクセス数は２名です。終了したら必ず[ログアウト]で終わってください。

タイトル	中日新聞・東京新聞記事データベース
リンク先URL	http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#CHU
ひとこと紹介	中部地方の情報をくまなくカバーする中日新聞（１９８７～）のデータベース。 学内限定、同時アクセス数は1名です。終了したら必ず[ログアウト]ボタンを押してください。

キーワードを使って検索するにはデータベースが便利ですが、記事の掲載年月日がある程度分かっている場合は、縮刷版を使うと同時期に起こった出来事も分かり、背景を理解するのに役立ちます。

主な新聞の縮刷版

朝日新聞・中日新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞　（中央図書館B1F　中央新縮）

6.資料を入手する

学内で所蔵していない資料は、取り寄せることができます。

読みたい論文が掲載されている雑誌や図書が名古屋大学で所蔵されていない場合、他の大学等からコピーもしくは図書を取り寄せることができます。

所属学部等の分館・図書室、またはOPACの画面から申込ができます（Webからのリクエスト）。

→http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/webrequest/web_request.html#ILL

- 所要日数・料金について

依頼先	日数	複写料金	借受料金
国内図書館 (料金相殺参加)	1週間～10日	大学が負担します (35～100円×枚数＋送料)	往路の送料を大学が負担 返送料を申込者が負担
その他の国内図書館	1週間～1ヶ月	申込者負担 (35～100円×枚数＋送料)	申込者負担 (往復の送料)
海外	10日～数ヶ月	一文献あたり、約3,000～5,000円程度	約3,500～10,000円

※おおよその目安です。申し込み先の事情により、一律ではありません。

やり方の詳細は、所属学部の図書室や、中央図書館の相互利用カウンターへお問い合わせください。

申し込みの前に、名古屋大学に所蔵されていないか、オンラインデータベースや電子ジャーナルで読むことはできないか、しっかりと確認してください。

7.研究成果を発表する

研究成果は、発表して共有することが重要です。理解してもらいやすい論文の書き方・発表の仕方を身に付けましょう。

レポート・論文のまとめ方

大学ではレポートを書く機会も多く、いずれは卒業論文など本格的な論文に取り組むことになります。

文章の書き方や学術論文におけるルールを確認しましょう。

タイトル 大学生のための研究ハンドブック : よくわかるレポート・論文の書き方
著者名 ノートルダム清心女子大学人間生活学科 編
ひとこと紹介 研究発表をし、レポートをまとめ、さらには卒業論文の作成のための研究を進めるにあたって必要な知識や技術を提供する必携書。
中央学3F 816.5||N

タイトル レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方
著者名 藤田節子 著
ひとこと紹介 レポート・論文を執筆する際に引用・参考にした文献の正確な書き方を紹介。
中央学3F 816.5||H

タイトル 論理性を鍛えるレポートの書き方
著者名 酒井浩二 著
ひとこと紹介 説得力を持ったレポートの必須条件である論理性を徹底的に鍛え、書く力とクリティカル・シンキングを身に付けられる。
中央学3F 816.5||Sa

図書(の章節)

タイトル 論文の教室 : レポートから卒論まで
著者名 戸田山和久‖著
ひとこと紹介 情報科学研究科戸田山教授によるレポート執筆指南書。
名大の授業で参考書として紹介されることも多い、読みやすい解説書です。
中央学3F 816.5||T ほか学内に多数所蔵があります。

プレゼンテーションをする

発表を通じて、意見を交換したり成果を共有したりできます。

効果的な発表をするのに必要なスキルや伝わりやすい資料の作り方を学びましょう。

タイトル プレゼン」標準ハンドブック : 図解はじめて
著者名 杉田恭一 著
ひとこと紹介 プレゼンに不慣れな人ほどパワーポイントを使うことに興味が向いてしまいますが、パワーポイントのシート作成は準備の一部にすぎません。
本書はプレゼン準備から本番までの手順を8つのステップ形式で紹介し、ムダなくモレのないプレゼンのやり方をわかりやすく手順解説しています。
中央学3F 336.49||Su

タイトル	学生のためのプレゼン上達の方法 : トレーニングとビジュアル化
著者名	塚本真也, 高橋志織 著
ひとこと紹介	中央参サポート/ライティング　809.2||Tu　にあります。

タイトル	大学生からのプレゼンテーション入門 = Presentation Training
著者名	中野美香 著
ひとこと紹介	初心者でも段階的にスキルを発展させられるよう書かれています。 中央学3F　809.4||N にあります。